

「越谷市学校給食施設整備基本構想（素案）」に対するパブリックコメントの概要

意見募集期間	令和8年(2026年)2月2日(月曜日) ~ 3月3日(火曜日)										
周知方法	<ul style="list-style-type: none"> ・広報こしがや令和8年2月号掲載 ・市ホームページ掲載 ・保護者連絡アプリ配信 										
意見提出方法	<ul style="list-style-type: none"> ・意見箱への投函 ・窓口へ持参 ・郵送 ・ファックス ・電子メール ・電子申請 										
意見箱設置場所	全2か所 給食課課窓口、行政資料コーナー										
意見数	<p>意見提出者 10人</p> <p>意見数 16件（内訳は以下のとおり）</p> <table> <tr> <td>A：意見(または意見の一部)を反映する</td> <td>0件</td> </tr> <tr> <td>B：すでに素案に示されている</td> <td>0件</td> </tr> <tr> <td>C：意見を反映はしない</td> <td>6件</td> </tr> <tr> <td>D：意見を反映しないが、基本計画策定段階等で参考にする</td> <td>6件</td> </tr> <tr> <td>E：その他（質問、感想等）</td> <td>4件</td> </tr> </table>	A：意見(または意見の一部)を反映する	0件	B：すでに素案に示されている	0件	C：意見を反映はしない	6件	D：意見を反映しないが、基本計画策定段階等で参考にする	6件	E：その他（質問、感想等）	4件
A：意見(または意見の一部)を反映する	0件										
B：すでに素案に示されている	0件										
C：意見を反映はしない	6件										
D：意見を反映しないが、基本計画策定段階等で参考にする	6件										
E：その他（質問、感想等）	4件										

「越谷市学校給食施設整備基本構想(素案)」に対するパブリックコメント実施結果

A	意見(または意見の一部)を反映します。
B	すでに素案に示されています。
C	意見を反映しません。
D	意見を反映しませんが、基本計画策定段階等で参考にします。
E	その他(質問・感想等)

No.	意見要旨	市教育委員会の考え方	反映状況
1	P.4「本構想の位置づけ」の「関連計画」の「越谷市地域防災計画」で、災害時に給食センターが米飯の炊き出しをすることになっているが、新しい給食センターは災害に強い地盤、環境に建設していただきたいです。また電源やガス等の確保(バッテリー等)、調理できる方が給食センターに来られない時の為に誰でも調理できるように簡単なマニュアルがあれば助かると思います。	新学校給食センターの建設地については、学校給食衛生管理基準に「調理後2時間位以内に喫食する」という努力義務があるので、まずはその条件をクリアした候補地を選定していきたいと考えています。 また、「誰でも調理できるマニュアルの作成」についてですが、学校給食センターは学校給食衛生管理基準に基づき調理場、調理員等の衛生管理を徹底しており一般の方の出入りをシャットアウトしていることや、調理の熱源が「蒸気」であることから専門の知識を有した職員がボイラー設備を点火するなど、「誰でも調理できる」環境を構築することは困難であると考えます。	C
2	P.4「本構想の位置づけ」の「上位計画」の「まち・ひと・しごと創成越谷市人口ビジョン」で、将来的にも少子化で児童生徒数、教職員数も減少すると予想されます。その時に給食センターの一部を老人施設の食事(介護職)、病院食、保育園の食事づくり等への転用を想定されていた方が良いと思います。	学校給食は、学校給食法第3条の規定に基づき、同法第2条に掲げる目標(健康の保持増進、食事への正しい理解など)を達成するために義務教育諸学校においてその児童又は生徒に対し実施されるものであり、現状ではご提案の転用は困難であると考えますが、今後についても他団体の事例等調査してまいります。	C
3	P.13「(3)学校給食衛生管理基準への適合」の「衛生管理基準上の主な課題」の①汚染作業区域と非汚染作業区域の区分で、部屋を区別して調理員のエプロンの色を変える等して担当作業区域の違いを明確にした方がよいと思います。	本市の学校給食センターでは、汚染作業区域と非汚染作業区域の区分については「部屋単位」で区分されていないものの、調理場と洗浄室の床面に各作業区域を黄色い線を表示し区別しており、また調理員においては作業内容によってエプロンの色替えを実施しています。新学校給食センターの運営においても、様々な取り組みを通じて衛生管理を徹底してまいります。	D

「越谷市学校給食施設整備基本構想(素案)」に対するパブリックコメント実施結果

A	意見(または意見の一部)を反映します。
B	すでに素案に示されています。
C	意見を反映しません。
D	意見を反映しませんが、基本計画策定段階等で参考にします。
E	その他(質問・感想等)

No.	意見要旨	市教育委員会の考え方	反映状況
4	P.13「(3)学校給食衛生管理基準への適合」の「衛生管理基準上の主な課題」の②一方通行のレイアウトについて、川口市の給食センターのように床に食材の導線を色分けしてかくとわかりやすいかと思えます。	本市の学校給食センターでは、毎日「作業導線図」を用いてすべての食材が搬入されてから調理、配缶、配送までの導線を管理し、汚染物と非汚染物が極力交差しないよう衛生管理を徹底しております。新学校給食センターの運営においても、様々な取り組みを通じて衛生管理を徹底してまいります。	D
5	P.17「食育の推進」で、給食を調理する部屋だけでなく調理場を上から見学できるつくりにするのも面白いです。児童、生徒、地域の方々が食育ルーム(会議室兼)もあるとよいと思います。給食の試食、社会見学、職業体験(中学2年生)に活用できる機会もあるといいですね。	本市の学校給食センターは、2階の見学窓から1階の調理場を見学できる構造になっています。新学校給食センターにおいても同等の機能を取り入れていきたいと考えています。食育ルームについては、他団体の先進事例等を調査してまいります。また、給食の試食と社会見学については毎年4月から10月までの期間でお受けしておりますので是非ご利用ください。なお、職業体験は給食センターの受け入れ可能期間と学校側の学習日程の調整がつけばお受けしています。	D
6	P.23「各給食提供方式の実現可能性の検証」の「(1)基本条件」で、手作り調理が望ましいですが、人件費高騰、人手不足の折、大量生産で限られた時間内での調理なので便利な調理機にも頼ってみてもよいのではないのでしょうか。川口市や小田原市等で使われているスチームコンベクションオープン等々(予算ありき、お手入れ大変かもしれませんが)検討されてみてはいかかでしょうか。	本市の学校給食センターでは、平成25、26年度にスチームコンベクションオープンを、平成29年度に真空冷却器などの調理機を導入しています。今後も、他自治体の先進事例を参考しながら、調理員や栄養士の意見等を取り入れ、予算の範囲内で計画的に導入してまいります。	D

「越谷市学校給食施設整備基本構想(素案)」に対するパブリックコメント実施結果

A	意見(または意見の一部)を反映します。
B	すでに素案に示されています。
C	意見を反映しません。
D	意見を反映しませんが、基本計画策定段階等で参考にします。
E	その他(質問・感想等)

No.	意見要旨	市教育委員会の考え方	反映状況
7	P.23「各給食提供方式の実現可能性の検証」の「(1)基本条件」の「夏季休業中の学童への昼食提供・アレルギー対応食の提供」で、給食センターの方々は大変だとお察ししますが、共働きの家庭がほとんどなので当事者の親御さんはすごくすぐく助かると思います。とても感謝されているはずです。	夏季休業中の学童への昼食提供並びにアレルギー対応食の提供については、保護者の皆様から大変好評をいただいています。今後も様々な方のご意見等を伺いながら学校給食を提供していきたいと考えています。	D
8	建て替えの必要性和センター方式の採用はわかるが、3か所を維持する理由がわからない。災害リスクについては、災害に強い構造の建物を建てればいいし、設備故障についてはメンテナンスや修繕も見越した設計にすればいい。将来の人口減少による税収減を考えれば、コストが抑えられる2センターの方が良いと判断できる。第一給食センターのボイラー故障の時に、パンだけの給食を食べさせられたときに、なんで3センターもあって補填できないのかとかなり不満に思った(市のホームページで事実と今後の対応が公開されていないのも不満である)。トラブル時に切り捨てる範囲を減らすだけの理由なら、3センターを維持する必要はない。資料を見る限り、他の自治体の実例を参考にしている記述がないので、集約した自治体と分散した自治体の現状について分析が不足しているのではないか。2021年に市内の給食センターを1か所に集約した久喜市など県内にも事例はあるので、もう少し考えてみてほしい。	本構想でもお示した通り、本市では児童生徒の人口がゆるやかに減少していき、令和29年頃(2047年頃)に2万人程度となる見込みです。しかしながら、現在の食数は1日あたり約2万7,000食を提供していますので、この食数を2センターで賄うためには、1万3,000食から1万5,000食の調理能力を保有する大規模な施設および敷地が必要となります。また、学校給食衛生管理基準では調理後2時間以内に喫食するという努力義務があるため2センターにした場合に新学校給食センターを建設する場所によってはその「2時間喫食」を守れない可能性もあります。さらに、災害発生時、施設停止時、食中毒発生時等のリスク分散なども含め総合的に判断していくと現時点においては現在の3センターが最適であると考えます。 なお、将来的には学校施設の適正規模・適正配置の検討との整合も図りながら、長期的な視点を持って本市にふさわしい学校給食施設について検討してまいります。	C

「越谷市学校給食施設整備基本構想(素案)」に対するパブリックコメント実施結果

A	意見(または意見の一部)を反映します。
B	すでに素案に示されています。
C	意見を反映しません。
D	意見を反映しませんが、基本計画策定段階等で参考にします。
E	その他(質問・感想等)

No.	意見要旨	市教育委員会の考え方	反映状況
9	<p>本件、ご検討いただきありがとうございます。</p> <p>本構想において、安全性や衛生管理の強化が示されている点は評価できると考えます。</p> <p>一方、献立モデルとして示されている「主食＋主菜1品＋副菜1～2品」が、現在提供されている「主食＋副食2～3品(デザートを含む日もある)」という給食水準から後退することがないのか、という点について懸念しております。</p> <p>今後の給食において、品数や内容が現行水準を下回らないことをどのように担保していただけるのか、明確に示していただきたくお願いいたします。</p>	<p>「副食」は、主菜及び副菜を指しており、P.23「各給食提供方式の実現可能性の検証」の「(1)基本条件」の献立モデルでは、現状と同水準の学校給食摂取基準に準拠した給食提供を想定して設定しています。本構想は、老朽化が進む学校給食施設の再整備に向け整備の方向性を定めるために策定するものであり、給食の品数や内容といった栄養管理に関する事項については掲載いたしません、学校給食摂取基準に基づき維持・充実に取り組んでまいります。</p>	C
10	<p>学校給食は1日の半分位栄養を摂取できる重要な食事である。</p> <p>施設を作るのは莫大な資金が必要となるが重要なものである。学校給食以外に病院スタッフ分、企業の職員分も作って売り上げをプラスできる仕組みや、外で販売等できる、駐車場を使わない日程や時間に時間貸しする等何か組み合わせた形で経費にプラスできるようにしてぜひ続けてほしい。</p>	<p>学校給食の栄養基準は、学校給食摂取基準に1日の必要量の3分の1を満たすよう設定されています。</p> <p>また、学校給食は、学校給食法第3条の規定に基づき、同法第2条に掲げる目標(健康の保持増進、食事への正しい理解など)を達成するために義務教育諸学校においてその児童又は生徒に対し実施されるものであり、現状ではご提案の給食提供は困難であると考えますが、他団体の先進事例等も調査してまいります。</p> <p>駐車場の活用については、現在でも給食センターが稼働していない日に貸出を行っています。今後も施設整備とともに、施設の有効活用等についても可能性を検討してまいります。</p>	D

「越谷市学校給食施設整備基本構想(素案)」に対するパブリックコメント実施結果

A	意見(または意見の一部)を反映します。
B	すでに素案に示されています。
C	意見を反映しません。
D	意見を反映しませんが、基本計画策定段階等で参考にします。
E	その他(質問・感想等)

No.	意見要旨	市教育委員会の考え方	反映状況
11	<p>教員をしております。さいたま市、草加市、川口市、越谷市と給食を食べていますが、やはり自校給食に勝てるものはありません。センター給食のカット野菜、豆腐等は量の関係もありカット済みや冷凍のものを使用しているのか美味しくない。子どもたちも食べません。</p> <p>自校給食はまず温かい。そしてより手作りで家庭に近い優しい味。 揚げ物、麺類、汁物。全てにおいて美味しさが全く違います。成長期の子どもたちにとって給食の栄養って大切かと思いません。自校給食になれば、食育活動(自分たちで使った野菜を使ってもらい、旬の取れて野菜を使ったレシピ等)もやりやすい。自校の学校は、教員の食育指導への意識もぜんぜん違います。</p> <p>コストがかかるのは、わかります。ですが、エアコンがついた時期も含め越谷市は教育にお金をかけてなさすぎると思えます。もっと未来ある子どもたちのために、必要な投資としてお金を使っていただけたらと嬉しいです。</p>	<p>本市の学校給食は昭和44年度に第一学校給食センターが開設されて以来、順次センター方式に切り替え、平成9年度には市内のすべての小中学校44校がセンター方式に切り替わっています。そのような背景のなか、当基本構想(素案)のP.32の総合評価で示すとおり現行のセンター方式の評価が最も高く、センター方式を維持することを基本としております。</p> <p>また、本市の学校給食で使用する食材は「物資規格書」に基づき食品添加物や遺伝子組み換え食品をなるべく使用しないよう配慮し、国内産を優先的に使用するとともに、地場農産物を積極的に使用することとしています。さらに、給食センターから配送される給食は保温性の高い食缶を使用するなど、児童生徒に少しでも温かい給食を提供できるよう努めています。</p> <p>食育指導においては19人の栄養士が担当校を受け持ち、児童生徒に食の大切さや栄養指導等を行うとともに、栄養士と調理員が学校を直接訪問し児童生徒との交流を通して、給食ができるまでの工程や調理にかかる思いや熱意等を伝える機会を設けています。</p> <p>今後についても、おいしい給食を提供できるよう引き続き調査研究していくとともに、成長期にある児童生徒の心身の健全な発達のため食育の推進を図ってまいります。</p>	C

「越谷市学校給食施設整備基本構想(素案)」に対するパブリックコメント実施結果

A	意見(または意見の一部)を反映します。
B	すでに素案に示されています。
C	意見を反映しません。
D	意見を反映しませんが、基本計画策定段階等で参考にします。
E	その他(質問・感想等)

No.	意見要旨	市教育委員会の考え方	反映状況
12	<p>現在、八王子市において、不登校支援の一つとして、学校給食センター内で作った給食を提供し、「第二の居場所」として給食センターを開放していると聞きました。越谷市においても前向きに検討していただくことはできますか？</p> <p>どうぞよろしくお願いいたします。</p>	<p>ご提案につきましては、給食センターの衛生管理上の観点等から困難であると考えますが、本市においても長期欠席者への支援は重要なものと捉えておりますので、今後も他自治体の先進事例等を参考にさせていただきます。</p>	C
13	<p>中学生の息子がいます。最近、給食の配給量が少なくどの生徒も給食だけではお腹いっぱいにならないとのこと。残り物をみんなで分けあって食べていますが身体の大きい子からすると全く足りていないとのこと。午後の授業や部活にも差し支えるため、保護者としては給食費の値上げをしてもお腹いっぱいなる量を食べさせてあげたいです。</p> <p>他に各自、おにぎりなどの補食の持参を許可して頂くなど対策を考えて頂きたいです。よろしくごお願い致します。</p>	<p>本市の献立は、学校給食摂取基準に基づき作成しております。ご要望として賜り、今後の業務の参考とさせていただきます。</p>	E

「越谷市学校給食施設整備基本構想(素案)」に対するパブリックコメント実施結果

A	意見(または意見の一部)を反映します。
B	すでに素案に示されています。
C	意見を反映しません。
D	意見を反映しませんが、基本計画策定段階等で参考にします。
E	その他(質問・感想等)

No.	意見要旨	市教育委員会の考え方	反映状況
14	バランスよく、楽しくなるような給食。	本市の献立は、学校給食摂取基準に基づき作成しており、季節感のあるバラエティに富んだ給食の提供に努めております。今後も、バランスよく、楽しくなるような給食を安定的に提供ができるよう、学校給食施設の整備を進めてまいります。	E
15	いつも小学校の給食でお世話になっています。子供は給食のご飯の味がとても美味しく、同じレシピで作ってとリクエストがあるくらい気に入っています。温かいご飯を食べられ、おかわりもできるときがあるそうで有難いです。これからも手作りの美味しくて温かい給食が提供されますように。よろしく願いいたします。	本市では、栄養士と調理員が日々児童生徒の皆さんにおいしい給食を提供できるよう、材料を厳選し手作り調理にこだわり心を込めて調理しています。今後も、皆さんに喜ばれるよう安全な学校給食を安定して提供できるよう、学校給食施設の整備を進めてまいります。	E
16	小学生兄弟より ・唐揚げが1個などおかずが少ない ・米がネチヨネチヨして美味しくない ・サラダは好き ・サラダが甘かったり、しょっぱかったり美味しくない	本市では児童生徒の栄養価を維持するため、唐揚げの個数は小学校低学年では2個、高学年と中学生では3個としております。サラダの味付けについてはご意見として承り、今後の業務の参考にさせていただくとともに、ご飯については炊飯を委託している事業者にお伝えし、おいしい給食の提供に取り組んでまいります。	E